



窓口になる赤木さん

Close up だて

—「つながり」が大切 趣味で仲間づくりを してみませんか—

伊達市社会福祉協議会
市民活動コーディネーター

あかぎ はじめ
赤木 肇さん
(松ヶ枝町)



市社会福祉協議会—さまざまな活動を後押しします

仲間づくりの第一歩！まずは始めてみよう
市社会福祉協議会 (☎22-4124)

スマホを使ってみよう

スマホに変えようかな・もっと便利な方法を知りたい。そんな方をお待ちしています。

日時 7月28日(木)

午前10時～正午・午後1時～3時の2回

場所 市民活動センター

人数 各20人 (先着順)

初心者健康マージャンの集い

「賭けない 吸わない 飲まない」健康マージャンにチャレンジ

日時 7月19日(火)・26日(火)・8月2日(火)

午後1時～3時 (全3回)

場所 市社会福祉協議会

人数 20人 (先着順)

皆さんの「生きがい」はなんでしょうか。釣り・陶芸・カラオケ・手芸：「趣味」といわれるモノたち。それから、友人とのちよっとしたおしゃべり。また、趣味といえるほどではないけれど、一人で楽しめるモノがあるという方もいます。

「仲間がいて、楽しめる場所や時間があれば、それだけで生き生きとした生活ができる。『何か新しいことがしたいけれど、知り合いない』『どこでやっているかわからない』『そもそも何がしたいかわからない』、そんな『気持ちはあるけど一歩が踏み出せない』『方を踏み込ませるため、人の輪作り事業を始めます』とお話しいただいたのは、新しい試みの仕掛け人の一人、市社会福祉協議会赤木肇さんです。

地域のコミュニティの停滞化。でも、生活する上で人との交流や繋がりはとても重要。この取り組みがコミュニティづくりの足がかりにもなればとも考えています。ただ、新しい事業だけに何から始めればいいのか手探りの状態とのこと。それでも「まずは興味を持ってくれそうな催しを仕掛けたい。既に文化やスポーツ分野では多くの団体が活動しているので、別の切り口も探したい。そこがなかなか難しく」と穏やかな笑みの中に新しい事業への強い熱意を込めて話してくれました。

世代を問わず、生き生きと生活するためには人との繋がりはなくてはならないものでしょう。ちよっとしたきっかけで知り合が増え、そこから人の輪や好きなことが増えていく。

楽しい生活のため、新しいことにチャレンジしてみませんか。

表紙のはなし



5月15日、カルチャーセンターで行われた「伊達赤十字フェスティバル2016」は、多くの来場者でにぎわいました。中には行列ができる人気の体験型コーナーも。看護服と救護服を着て写真が撮れるコーナーでは、ポーズを決める可愛い笑顔を見つけました。子どもも大人も一緒になって楽しめるイベントでした。

楽 画 記

■「朝霧は晴れ」「有珠山に雲がかかっていると天気が下り坂」子どもの頃、祖父が教えてくれた天気予報。今も信じていて休日の朝に霧が出ていくとわくわくします。お日様をフル活用するには布団干し？庭の手入れ？いや、ドライブでフレッシュ！鮮やかな新緑を楽しみつつ美味しいものをいただく休日…いいなあ。(と)

■少しずつ気温も暖かくなり、過ごしやすい日が多くなってきました。皆さんはこの時期、どのように1日を過ごしていますか？テレビっ子の私は、天気の良い週末も録画しておいた番組を見ながらだらだらと過ごしてしまいます。もったいないと思いつつも、なかなか体が動きません。何か趣味を見つけなければ…。(た)

■皆さんからの投稿で作られる「みんなの掲示板」。ご依頼が多く紙面がいっぱいです。「広報紙を見て参加した」と聞くと私たちも嬉しいので、なるべく多く掲載できるようがんばっていますが紙面の都合で掲載できない事も…紙面から溢れた行事はホームページの行事予定に掲載していますので、ぜひそちらもご覧ください。(や)